

三〇、大島村および大島新田村

1、麻島神社由来 麻島神社という神社名は麻生と大島をあわせて麻島という名ができ、それをもって冠した明治初年の町村制施行が産んだものである。もともとは古麻生、西麻生の鎮守である諏訪神に、大島の鎮守の八幡神社を合祀したもので、この新しい神社名ができていく。その古くからの来由はわからない。麻生という部落が変遷、統合を経ているように神社にもそのような経過を生じるに至っている。

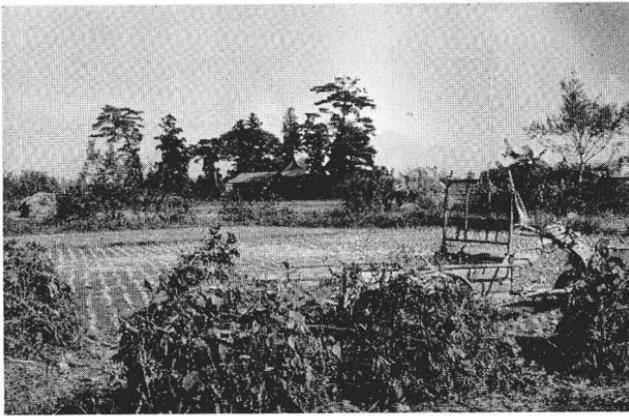
国幣中社伊須美神社宮司正七位松平健雄篆額

会津麻島字西麻生大島宮腰に鎮座す諏方大神祭神の武御名方命永仁二年八月二十七日葦名直盛信濃より勸請正八幡大神所祭応神天皇社伝に寛正の頃大島若狭守頼盛石清水より奉斎古く大郷大島荘有荘司官衛に有て往昔大祠境広く木蕃蔚社殿宏壯社領田数町四時祭殿に神官数名奉仕せしに天正の兵乱料田を没収遠近信仰多く維新前公営明治三十五年穰暴風社殿僵木の為に破損せしを「氏子尊崇厚く三十六年旧に復し悉皆再建村内益々敬神有志一に尊社の故由を礎台石に彫刻萬世に伝舞と恰う好大日本帝国大勝利軍神感高く人喜び此の碑永く家々豊に幸福多かり

明治三十八年旧八月二十七日生日足日吉時

学正 坂内須賀美謹誌

麻島神碑



大島の麻島神社(41.11.4)